



グローバル COE 物質科学イノベーション講演会

大阪大学蛋白質研究所・所長である、相本三郎先生が来学される機会に、以上の通り講演会を企画しました。

相本三郎先生は、タンパク質の化学合成に関連した分野で、多くの国際的な業績を上げておられます。ま先生の最近の研究内容について、興味深いお話が伺えるものと思いますので、多数ご参加下さい。

演 題：『ライゲーシオン法による蛋白質合成』 — 有効性と課題 —

講 師：相 本 三 郎 教授

大阪大学 蛋白質研究所 所長

日 時：2008 年 11 月 27 日（木） 15：00～

場 所：理学部 7 号館 7-219/220 室

共 催：日本化学会北海道支部、日本生化学会北海道支部、
生命分子化学セミナー

要 旨：

現在、蛋白質はペプチドチオエステルを合成ブロックとしたライゲーシオン法とよばれる方法によって合成されている。なぜライゲーシオン法が必要であったのか。それに至る歴史的背景について紹介するとともに、ライゲーシオン法の一つであるチオエステル法の開発と展開について紹介する。さらに、蛋白質化学合成の現状並びに合成蛋白質を介した関連分野との関わり、克服すべき課題について解説する。

連絡先：理学院化学部門 坂口和靖（内線：2698）